

児童発達支援事業かやま保育園（ぱんだ組）の支援プログラム

令和8年2月2日作成

1. 事業所の理念

「あそび」が大切ぱんだ組！

ぱんだ組は遊びを通してお子さんの「できた」を増やす支援をします。

2. 基本方針

心身の発達に心配がある、集団に慣れないなどの悩みのあるお子さんが、日常生活における基本的動作を取得し、集団生活に適応することができるように支援を行います。

3. 本人支援

かやま保育園ぱんだ組は、以下の5領域の分野で一人ひとりの支援計画に定めて支援を行っています。

①【健康・生活】

生活習慣の中で「一人でできた！」を増やすお手伝いをします。

②【運動・感覚】

体を動かす楽しさを伝えます。運動や遊びを通して体の機能を伸ばします。

③【認知・行動】

親子でほっと安心して過ごせる場所を目指し、お子さんの気持ちの安定を図ります。

④【言語・コミュニケーション】

お子さんに合わせたコミュニケーション方法を考え、「伝えたい、伝わった」の経験につなげます。

⑤【人間関係・社会性】

遊びを通してお家の人や友だちとの関わりや「楽しい」を共有する機会を作ります。

4. 家族支援

親子療育を行う中で、お子さんの成長を共に支援し、喜び合える関係を大切にしています。

①お子さんの特性や家庭での様子について話し合い、子育てについて一緒に考えます。

②外部講師による相談会、講演会などで情報を得る機会を提供します。

③「トークタイム」や「先輩保護者を囲む座談会」など、お家の方同士がつながる機会を提供します。

5. 移行支援

就園や就学など、次のステージへ移行するために様々な取り組みを行っています。

①就園を目指しているお子さんには、事業所で療育を行う他に、かやま保育園の同年齢クラスの集団活動に参加する交流保育を行っています。

②在籍園、就園先、就学先との情報交換など連携を図り、スムーズな移行や切れ目のない支援を目指しています。

6. 地域支援

利用されるお子さんが、自分の住んでいる地域で自分らしく生活することを目指し、地域と連携し社会参加の機会を作ります。

①園外療育で外食や買い物、公共交通機関での移動などの体験を通して、地域資源を知るきっかけや社会参加の機会を作ります。

②医療、福祉、教育、保育など関係機関と連携し、お子さんを中心とした支援体制の構築に努めます。

7. サービス提供日及び時間

祝日を除く月曜日～金曜日（12月29日～1月3日を除く）

午前9時から午後3時まで

※送迎サービスは行っていません

○デイリープログラム

月、水、木、金曜日

9:00 ～登所

- ・朝の身支度（身辺自立におけ、お子さんのできるところから行います）
- ・金魚体操（歌に合わせて体をユラユラする準備運動をします）
- ・親子遊び（プレイルームやテラスに好きな遊具を出し、体を動かして遊びます）
- ・音楽に合わせて体を動かす時間
 - ①よ～いどん（おうちの人と順番に走ってハイタッチでゴール）
 - ②今日の体操（手をつないだり抱っこしたり、親子のふれあいを楽しむ体操をします）
- ・2人～5人のグループで手指を使った遊びをする時間
- ・みんなで同じ遊びを楽しむ時間
- ・給食
- ・保護者フリーストックタイム（その間、お子さんは保育士と遊びます）

12:30 帰りの会 身支度をして帰ります

火曜日（小集団療育：年長児対象）

13:00 ～登所

- ・身支度（身辺自立におけ、お子さんのできるところから行います）
- ・金魚体操（歌に合わせて体をユラユラする準備運動をします）
- ・体を動かして遊ぼう（プレイルームやテラスに好きな遊具を出し、体を動かして遊びます）
- ・2人～5人のグループで手指を使った遊びをする時間
- ・みんなで同じ遊びを楽しむ時間

15:00 帰りの会 身支度をして帰ります

8. 職員の資質向上

提供する支援の質を確保するため、月に1回以上の所内研修や、外部研修（オンライン含む）への派遣など、職員の資質の向上に取り組んでいます。

9. 主な行事

- ・園外療育 ・外部講師による療育相談会 ・ミュージックセラピー ・ビジョントレーニング
- ・スキンシップ水泳療育 ・保護者講座 ・保護者座談会 ・歯科はみがき指導 など